

「令和6年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.9)」

■ 研修時期・研修先

時期：令和6年9月21日～22日
(2日間)

研修先：農事組合法人となん（盛岡市）

■ 研修生について

岩手県在住のLさん。今後、就農を考えており、新農業人フェアに参加。フェアでの説明から一度農業体験をしたうえで考えたいとお申込みいただきました。

■ 研修先の概要

経営面積は、水稻（主食用 731ha、加工用 53ha、米粉用 18ha、飼料用 41ha）、小麦 90ha、大豆 4ha、加工用トマト 1ha を作付し、生産・販売しています。

営農や行事を協力し合いながら行う「ぐるみ型」の集落営農を展開し、組合員が管理できない農地は、同組合職員が「直営」で耕作しています。

また、新規就農者確保のため、就農希望者に研修を受けさせながら、自営就農への支援をしています。

【HP】 <https://tonan-agricoop.jp/>

■ 研修の内容

雨が続いたことから当初予定していた作業が出来ず、ガイダンス・小麦資材小分け作業・管内案内（水稻の作付け状況・中山間地の状況・小麦栽培の概要・経営継承の現状）の実施となりました。

ガイダンスでは、農事組合法人となんにおける就農までの支援体制や、個人が新規で全て設備投資して始めるのは、経営的には厳しくなるため、第3者継承でうまくマッチングできれば、とのアドバイスがありました。



■ 研修の感想

- ・ 作付面積に応じた収益額や水稻であれば作付面積 30ha/1人、必要なこと。実際どのような形で農業をしているのか知ることが出来て良かったです。
- ・ 水稻での自営農業を希望しているので、技術習得の研修が必要に感じました。
- ・ 自分で食料を作ることや、就農した場合、自分には、連携先などがあるので魅力を感じました。



■ 今後の予定

- ・ 来年から1～2年研修を受け、来年には就農についての結論を出したいと思います。